

「土砂災害」について

灯明寺中学校一年出村実咲(下むらみさこ)

初めに、「土砂災害」とは、大雨や地震に
ともなう斜面崩壊一かけ崩れ・土砂崩れ、
地すべり、土石流などにより人の生命や財産
が、おびやかされる災害のことです。

土砂災害の引き金になっていのは、集中
豪雨や台風などによる大雨、地震、火山活動、
天然ダムの決壊、人工的な掘削などが挙げら
れます。

私は、実際に土砂災害にわたったことがない
の下、「土砂災害」という言葉を聞いても今
までは、自分に関係がないのであまり関心が
ありませんでした。しかし、今年の七月の初
めに各地で大雨が降り、そのせいで広島県、
岡山県、愛媛県などで、川がはんとしして住
宅街に水が流れ込んで家や車が流されたり、
山の近くに住んでいた家は土砂崩れが起きて
土砂の中に埋まってしまうました。毎日、二
エースでこの映像が流れてたくさんの方が七

くなり、一日一日亡くなる人の数が増えているのを見て、もし自分達の住んでいる所が同いような目にあつたら想像すること、とても怖いという気持ちでいっぱいになりました。私は、地区の防災訓練に一度も参加したことがありませんでした。なぜなら、災害なんてわつたに起こらないだろうし、自分には関係がないと思つていたからです。でも、今回の大雨で全国各地で被害が拡大されたのをニュースで見つて、他人事だと思わないでいつ自分

に降りかかつてくる災害かもしれないと思つたので、地区の防災訓練には参加しないといけないと思ひ、今年初めて参加しました。地区の防災訓練に参加して初めてたくさんの人が毎年参加しているのを知つて驚きました。そして、災害にあつたときの避難場所などの説明を聞いたり、火事になつたときの消火の仕方などを教わりました。地区の防災訓練に参加することば、とても大切なことだと思ひました。今まで知らなかつたことなどの話を聞

かせてもらい、災害についての意識が高まりました。これからの土砂災害などの防止対策について、いろいろと考えることができました。まず、自分達で防止対策ができることは何かということも考えた結果、一つ目は普段から自分が住んでいる場所が土砂災害危険箇所かどうかを確認しておくことです。二つ目は、雨が降りたしたら土砂災害警戒情報に注意することです。三つ目は、土砂災害警戒情報が発表されたら早めに避難することです。この

時、避難する場所が分からないと災害にわた時、どこに行っているのか分からないので、地区の防災訓練に参加しておくことも、重要になってくるということが分かりました。そして、普段から家族と避難する場所、そこへ移動する経路、また家族間の連絡方法について、話し合っておくことも大切だと思います。この三つのポイントは、普段からの備えとして自分達で防止対策ができることなので今後、私も家族と災害の防止対策につ

いて考えていきたいと思えます。また、地域の
の人達と助け合うことも、とても大切なこと
があります。なぜなら、人は一人ではできないこ
とがたくさんあります。例えば、一人では避難
所にいると心細くてどうしようもないという気持
ちでいっぱいになると思えます。でも、そんな
ときに同じ避難所にいる人達と声をかけ合っ
たり、話をすることで、心細かった気持ちが
みんなも自分と一緒に気持ちでいると思うこ
心強い気持ちになれると思えます。そして、

お互いにはけまし合いながら、頑張れると思
います。

最後に、日本は国土の七割を山地・丘陵地
が占め、地殻変動が活発な変動帯（環太平洋
変動帯）にあり、火山も多いことから土砂災
害が起きやすい国だということも、普段から
頭に入れておくことだと思います。そして、
いつ何時災害が起きるか分からないので、各
自で災害に備えておくことが、とても重要に
なってきたと思います。

今回の災害が起こり、被害が大きかった所には、全国からボランティアの人達が集まってきた。被害にあった人達のことを一生懸命手伝っている姿がニュースで映し出されてい
るのを見ると、人のために頑張っているの
を見習わなければいけないと思いました。私
も将来、人のために役に立てるような人間に
なりたいと思います。

これからはいつ何時災害が起こるのかが
分からないので、普段からしっかり災害防止
対策をとるようになっていきたいと思
います。できるだけ災害が起こらないことを願
います。